

学校教育目標	学校教育目標「一人ひとりが自分に適した生き方を実現する力がもてる子を育てます」 ・よりよい生き方を創るため、自ら学び、考える力を育てます。(知) ・豊かなかかわりを通して、互いに認め合い、育み合う心を育てます。(徳) ・全ての生命を大切にすることと健やかな体を育てます。(体) ・社会の一員として貢献できる態度を育てます。(公) ・様々な人々とのコミュニケーションを通じてグローバルな視野を育てます。(開)				
	「自立と貢献」 → 教育理念 「健康と思いやり」 「対話と融和」				
学校概要	創立 33 周年	学校長 鈴木 均	副校長 飯田 富士夫	3 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 人 中川西小学校 都筑小学校 すみれが丘小学校 牛久保小学校 荏田小学校 山内小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働による課題解決能力 自己理解と他者理解 言語能力(コミュニケーション力) 生命に対する畏敬	中川西中学校 中川西小学校 都筑小学校 すみれが丘小学校 荏田小学校	・つながりの中で、挨拶をしっかりとし、認め合い、励まし合い、高め合い、自らの課題を見つけ、解決しようとする子ども ・授業交流を通じて、小中一貫カリキュラムの完全な組織的に推進し、共通理解を深める。 ・生徒指導専任と児童指導専任との連携を強め、児童・生徒の問題行動を未然に防止する環境作りを目指す。 ・児童と生徒の交流活動を行うことにより生活感のギャップを少なくする。

中期取組目標	○育成を目指す資質・能力を伸ばすために 1年目 学校全般の教育活動、特に授業・総合・行事等の実施に関する目指す資質能力(課題解決能力・自己理解と他者理解・コミュニケーション能力・生命に対する畏敬)の項目を必ず設定し、最低でも複数回実施し、その振り返りを行う。 2年目 1年目の振り返りを基に各教科や分掌において、育成を目指す資質能力を再設定し、中期間(学期)で実施を行い、その振り返りを行う。 3年目 2年目の振り返りを基に各教科や分掌において、育成を目指す資質能力を年間計画に取り込み、年間を通じて実施する。
	○生徒一人ひとりの個性や多様性を大切にし、誰一人取り残すことのない教育を目指すために 特別支援教育を継続的に推進する。・外部との連携を継続的にを行い、様々な教育活動(キャリア・健康教育)を推進する。・SDGsを推進する。

重点取組分野		具体的取組
知	学習・授業	基礎基本の定着と個に応じた学習指導の充実、並びに思考力・判断力・表現力を育成する。具体的には1)授業でのめあての提示および振り返り 2)言語活動の充実 3)問題解決を導き出す指導の充実 を行う。
担当	学習指導部・教科主任会	主体的、対話的深い学びの視点からの授業改善を行い、自ら学び自ら考える力を育成する。
徳	道徳・心	学校生活全般における事象を含め、道徳心育成のためにさまざまな視点から物事を捉え、互いに認め合う心を育てる。さらに自治の精神を高めるためのリーダーシップ育成とフォロワーシップの育成を目指す。
担当	道徳担当・特活指導部	
体	体力・健やかな体	なりたい自分を目指し健康・安全についての理解を深め主体的に健康な生活を実践することができるよう、計画的に健康・安全教育を行う。
担当	保健指導部・保健体育科	
公開	総合・キャリア・進路	1年: キャリアチャレンジデー(職業講話)、2年: 職場体験(コロナ禍では職場訪問インタビュー)、3年: 地域の方々による模擬面接を柱とし、3年間を通じたキャリア教育の推進を図る。また、SDGsを意識して、生徒一人ひとりにより社会に貢献できるように育成を行う。
担当	総合指導部・進路担当	
いじめへの対応		生活点検アンケートやいじめアンケートの結果を活用した、いじめの早期発見に努める。また、アンケートの結果を学年職員で共有したり、いじめ認知報告書を全職員で共有したりすることを通して、職員一人ひとりの対応力を養成する。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		校内人材育成組織のOJTを中心に初任から3年目までの職員の育成を計画的に図る。(含むFBI)研究授業を年間計画に組み込み、授業力の向上を図る。自己観察の目標設定と振り返りにより個々の指導力を高める。ICTに関する業務の分散化やミライムの導入等で会議や打ち合わせの短縮化や精選を図る。
担当	管理職・教育課程推進委員会	
地域連携 学校運営協議会		専任と広報渉外部の担当を中心に地域との連携する行事(夏祭りなど)やPTA主催の行事の連携を推進していく。学校運営協議会は年間5~6回開催し、学校の様々な取組状況の報告をして学校への理解を深めていただき、教育活動における課題や問題などに対して協力体制(支援)をしてもらえるよう連携する。
担当	主任・専任・管理職	
特別支援教育		(知)各教科職員による学習支援や学習支援ソフトを活用した復習に力を入れる。(徳)クラスと同じ道徳教材での学習を進める。(体)日々の時間割に体育活動を優先的に組み込む。(公開)地域団体の協力を得ながら課外活動を充実させていく。
担当	特別支援委員会	
安全・防災 食育・薬物・性教育		防災学習、避難訓練の充実を図り、自助共助できる力を身に付けさせる。食生活アンケートや食育講座、PTA栄養講座、幼保小中連携等の取組を通して、なりたい自分になるための食育を充実させ、生徒の食生活を支える環境づくりに繋げる。命や性、薬物について外部との連携を効果的にを行い、正しい知識を学び自らの命をよりよく育む態度や能力を養う。
担当	保健指導部	
担当		